

平成23年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通所介護事業

短期入所生活介護事業

訪問介護事業

居宅介護支援事業

介護老人福祉施設事業

ケアハウス事業

## 平成23年度社会福祉法人慈照会事業報告

### 1. 総括

日本経済はリーマン・ショックからの回復の途上で東日本大震災により再び大きく落ち込んだが、サプライチェーンの修復につれて着実に持ち直してきた。年度後半は、輸出や生産が海外経済の減速や円高の影響を受け景気は横ばい圏内の動きとなった。成長率は震災後の落ち込みを反映して、小幅のマイナスになったと見込まれる。

年間を通じて、利用者、入居者、職員にとっての環境改善を目的として、備品の更新、購入を進めた。具体的には、リフト車輛増台、特養、デイショートに最新の多機能カラオケ機器セット設置、感染症対策として自動おしぼり機・オゾン発生器・業務用空気清浄機設置、特養ダイルム・認知症対応型ダイルムカーペット新設、テーブルの全面入替、腰痛予防として移乗用リフト導入等を実施した。

重点目標である職員の定着のため、課題であった産業医契約を8月より結び月1回衛生委員会を開催、派遣職員の直接雇用を進め、コミュニケーションの機会として食事会を年2回実施した。退職者は昨年より減少した。

感染症については、発生を十分想定していながら、12月にノロウイルス、2月にインフルエンザが発生した際、対応が遅れ集団感染となったことは、今後の課題となった。

年後半より、食事の充実のため次年度からの給食会社の変更に取組み、13年委託していたナリコマエンタープライズから日清医療食品に変更した。

前年度に引き続き年度末に50,000,000円を繰り上げ償還し金利負担を軽減したが、法人全体の予算は、特に特養減収により当初予算収入を減額補正した。

財務体質の改善、職場環境の改善、サービスの向上を着実に進めたが、収入目標の達成には課題が残る。

#### ※委員会活動等

(研修教育体制チーム) 会議開催数5回

月間MVPを2回実施。施設内研修を7回開催したが、新たな取り組みはできなかった。

(環境整備委員会) 委員会開催数2回

除草作業、窓拭き、エアコンフィルターの清掃について計画、実施。夏祭り打ち上げ、忘年会を企画実施。ポスターの掲示等感染症の啓発に取り組む。職員交流の企画実施、環境整備の啓発に課題が残る。

(事故・苦情防止委員会) 委員会開催数3回

平成22年度、23年度の事故分析を行い、各事業所へ情報提供し、経営会議にて情報共有したが、分析を各事業所で生かしていない。事故を無くすための組織的な取り組みにも結びついていない。苦情への取り組みは次年度の課題。

(情報開示委員会) 委員会開催数4回

広報誌を1回発行。広報誌の発行回数、ホームページの更新方法に課題。

## 2. 事業別報告

【通所介護事業】（一般型定員25名 認知症対応型12名）

昨年度法人の重点目標として稼働率向上に取り組み、その流れを受け継ぎ積極的に新規利用を受入れ、新規利用者が37名（昨年比97.3%）、一日平均利用人数は26.2名（昨年比103.5%）と伸びた。一方で、認知症対応型の利用減が顕著であった。演芸ボランティアを新たな団体・個人を含め積極的に受入れ、地域の人的資源との連携を進めた。

### 重点目標

- ・お客様の能力を引き出すサービス展開

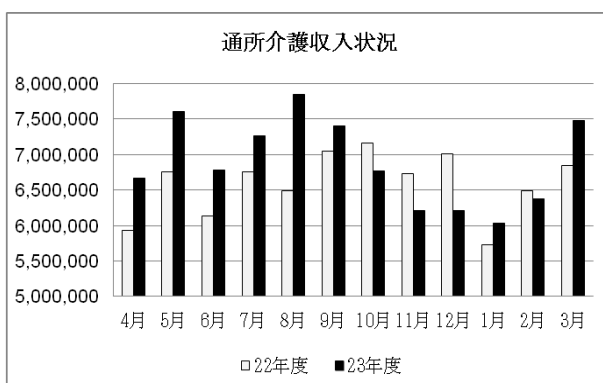
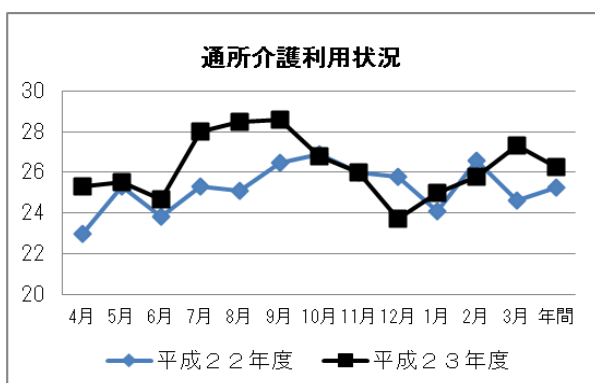
お客様に有意義に過ごしてもらえるように、クラブ活動を行い、満足していただけるサービスを目指す。クラブに分けることにより、ひとりでも多くのお客様が参加できる体制を目指す。

### 結果

最新のカラオケ機器（モニター含む）を導入し、歌、体操のサービスが幅広く提供できるようになった。歌を歌う方が増えた。また、男性のお客様の間で囲碁・将棋が流行り、今まで対応が難しかったが、自ら進んでされる場面も見られるようになった。しかし、他のクラブでは、計画通り進まなかったところもあり、今後課題を残す結果となった。

### 利用状況

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	認知症対応型	通常規模	合計
4月	26	81	2	2.1	4.1	19.1	25.3
5月	26	84	2	1.7	4.4	19.4	25.5
6月	26	79	0	1.5	3.8	19.4	24.7
7月	26	85	6	1.7	3.9	22.4	28.0
8月	27	88	2	2.0	4.2	22.3	28.5
9月	25	86	2	2.1	4.2	22.3	28.6
10月	26	83	1	2.0	3.4	21.4	26.8
11月	26	84	4	2.0	2.8	21.2	26.0
12月	26	87	6	1.9	2.5	19.3	23.7
1月	24	83	4	2.0	2.5	20.5	25.0
2月	24	89	3	2.1	2.3	21.4	25.8
3月	27	90	5	1.9	2.9	22.5	27.3
年間	310	1019	37	1.9	3.4	20.9	26.2



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

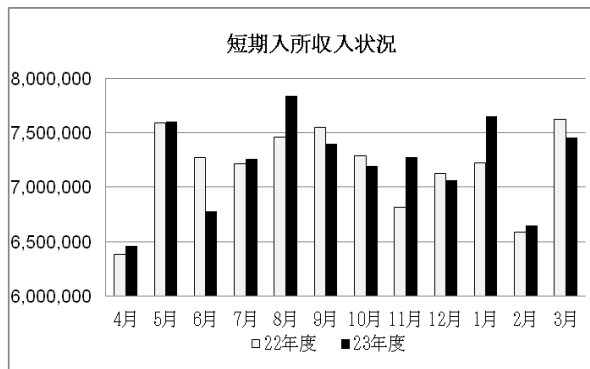
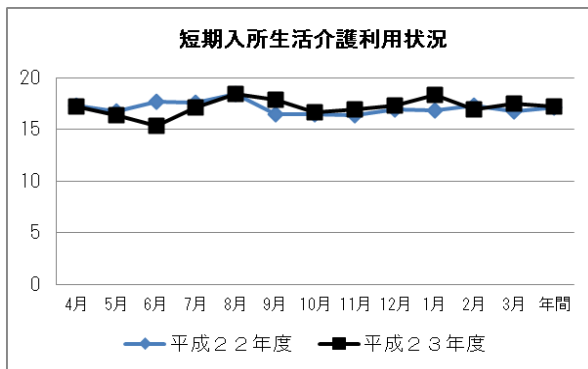
新規利用者は77名（昨年比71.9%）、平均利用人数は17.2名（昨年比100.5%）  
 となった。困難ケースの多い緊急ショートを積極的に受け入れ、営業地域外の利用も多かった。

重点目標 ※通所介護共通

結果 ※通所介護共通

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	3	79	17.2	107.3
5月	8	84	16.4	102.2
6月	6	79	15.4	96.5
7月	9	86	17.1	106.7
8月	9	89	18.5	115.3
9月	8	89	17.9	111.7
10月	3	87	16.7	104.4
11月	8	92	17.0	106.5
12月	2	80	17.3	108.3
1月	9	89	18.4	115.1
2月	5	80	17.0	106.0
3月	7	84	17.5	109.7
年間	77	1018	17.2	107.5



### 【訪問介護事業】

予防の実人員、延べ時間が増えたが、特に下半期の利用者の体調変化や他施設入居、死亡による解約等が多く安定しない中、利用者の確保に苦心した。延べ時間数は9,369時間（昨年比97.7%）となった。

#### 重点目標

- ・在宅生活を支えるプロのサービスの徹底

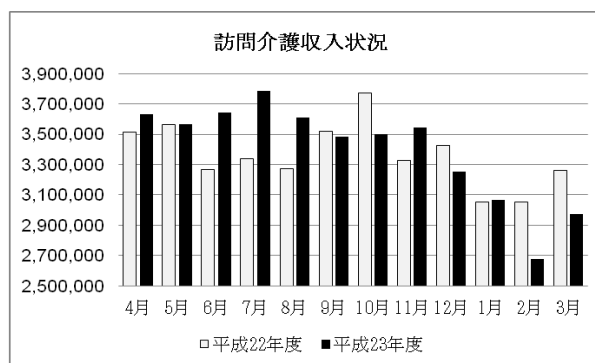
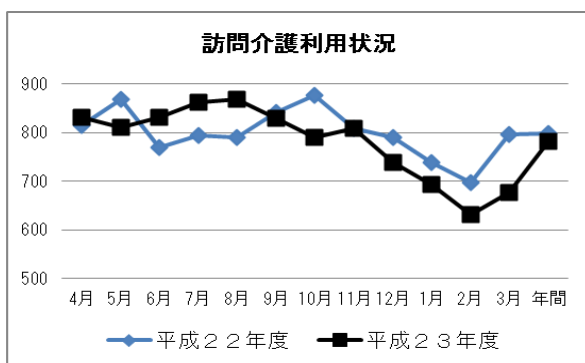
多方面の知識と情報、基本介護技術、生活援助者としての倫理観・価値観を向上させ、ニーズの解決に努める。多様なニーズをもつお客様への対応力を高め、職員一人ひとりの訪問先、件数を伸ばす。

#### 結果

プロのサービスの徹底では自己学習とその都度話し合いに努めた。自分自身のアンテナを方々に巡らせ絶えずしっかりした情報を持つこと、その人に応じた技術をヘルパー会議にて徹底した。それでも訪問先でのケアレスミスが発生しており、さらに職員の育成を進め、プロのサービスを徹底し、職員一人ひとりの訪問先、件数を伸ばしたい。

#### 利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延時間	利用実人員	延時間	利用実人員	延時間
4月	11	73	51	757	62	830
5月	11	79	51	731	62	810
6月	8	72	52	760	60	832
7月	15	89	54	773	69	862
8月	14	91	56	777	70	868
9月	14	88	54	740	68	828
10月	12	74	55	716	67	790
11月	12	78	58	731	70	809
12月	12	84	55	655	67	739
1月	12	73	51	621	63	694
2月	11	66	46	565	57	631
3月	11	74	49	602	60	676
年間	143	941	632	8428	775	9369



### 【居宅介護支援事業】

新規利用者が35件(昨年比140%)と伸びプラン件数は年間856件(昨年比100.1%)となった。

#### 重点目標

- ・素早い対応と在宅看取りへの対応

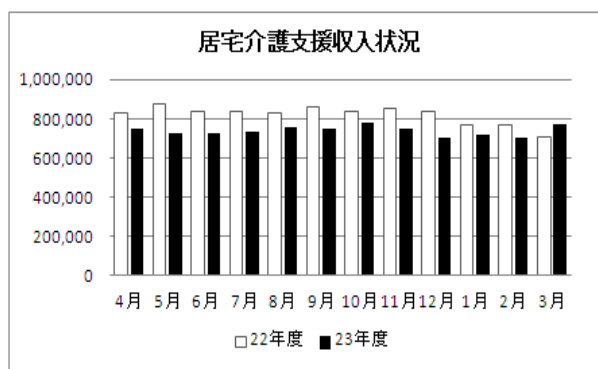
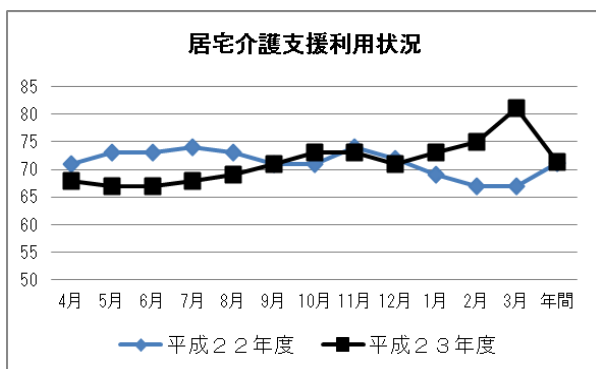
新規受付からサービス導入まで、また日々の対応の速度をあげる。施設と高齢者増の現状を踏まえて、在宅看取りを進める。

#### 結果

素早い対応に関しては、特に新規サービス依頼者への返事から受諾訪問までの初動を早くするため、書類をセットしマニュアル化した。結果、昨年を上回る契約数となった。日々の記録、アセスメント、サービス計画等の質の向上は課題として残った。在宅看取りに関しては、1名の看取り対応者、10名前後の在宅逝去者の事例を事業所内で共有した。これらの事例をもとに在宅生活の継続につき、さらに可能性を探っていきたい。

#### 利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	1	3	16	23	12	8	5	68
5月	1	1	2	17	20	12	9	6	67
6月	1	1	4	15	18	14	10	5	67
7月	2	1	4	16	21	11	10	5	68
8月	1	1	4	18	19	11	9	7	69
9月	3	2	5	18	17	12	11	6	71
10月	5	2	5	19	18	10	13	6	73
11月	4	3	6	18	19	10	11	6	73
12月	3	3	7	19	19	9	10	4	71
1月	4	3	8	19	19	9	11	4	73
2月	5	4	8	20	20	10	8	6	75
3月	4	5	10	20	21	11	8	6	81
年間	35	27	66	215	234	131	118	66	856



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

例年になく年間を通じて入院者が多く、一日平均在居人数は48.0名（昨年比95.6%）と50名を下回り、退居も多い年となった。行政からの依頼である措置入所2名、特例入所を2名受け入れた。

重点目標

- ・日常生活の質的向上を目指す

入居者の日常生活を取り巻く環境をあらゆる視点から見直し、個々人がその人らしい当たり前の生活を送れるようにする。

結果

年間を通じて月別の行事を実施し喜んでもらえたことは評価できる。褥瘡・拘縮予防委員会の活動が軌道に乗り入居者の生活向上に結びつきつつあるが、排泄委員会の活性化は課題である。認知症ケアについては、事例に取り組みより詳細なアセスメントをもとに事例発表研修会を実施できたことは成果であるが、認知症ケアの変化、向上には結びついておらず、職員の意識に課題が残る。

平成24年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	2	1	2	0	4	0	1	2	0	4	0	5	21
退居	2	1	2	0	4	1	2	1	1	2	5	0	21
在籍者数	53.2	53.7	53.7	54.0	52.4	54.7	53.6	53.5	54.0	53.7	53.7	53.4	53.9
在居人数	46.5	45.8	48.4	47.0	45.8	50.2	50.2	50.4	48.4	45.5	48.0	50.3	48.0

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	32.9ヶ月	40.7ヶ月	39.7ヶ月

在居期間	男性	女性	実数	構成比(%)
1年未満	2	18	20	20.4
1年以上2年未満	2	7	9	22.2
2年以上4年未満	1	9	10	20.4
4年以上6年未満	1	5	6	16.7
6年以上8年未満	1	3	4	3.7
8年以上10年未満	0	0	0	0
10年以上	0	6	6	16.7
合計	7	48	55	100.0

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	2	2	3.8
75～79歳	1	8	9	17.0
80～84歳	2	7	9	17.0
85～89歳	2	10	12	22.6
90～94歳	2	13	15	28.3
95～99歳	0	8	8	15.1
100歳～	0	0	0	0
計	7	48	55	100.0

	男性	女性	全体
最高年齢	94	98	98
最低年齢	76	72	72
平均年齢	86.3	86.8	86.7

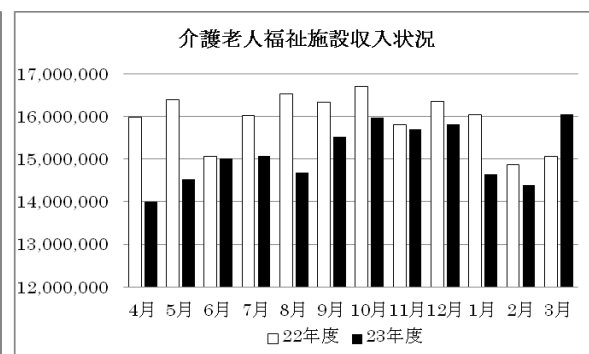
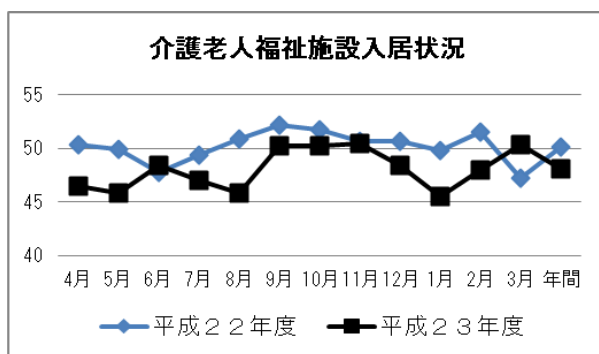
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	5	7	16	18	9	55
構成比 (%)	9.1	12.7	29.1	32.7	16.4	100.0

平均要介護度 3.35

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	14	16	29	44	24	127
構成比 (%)	11.0	12.6	22.8	34.7	18.9	100.0





【ケアハウス事業】（定員：15名）

入居者の重度化が進み、4名の退居があった。夫婦部屋のニーズが低く15名定員を割れている状況が続いており、対策が必要。下半期は職員体制が安定した。

重点目標

- ・心身機能維持と意欲向上

入居者が重度化する中で、快適な生活環境、下肢筋力の低下予防（転倒予防指導）、入居者ニーズへの迅速な対応（懇談会内容含む）、趣味活動、行事の充実、排泄・衛生面での支援に取り組む。

結果

清掃内容を充実させ共有部分の衛生的で快適な環境作りをした。転倒時の要因を研究し、急な方向転換等の転倒しやすい要因を必要な方には随時説明し、歩行補助具（老人車等）の使用方法についても適切な方法を指導した。入居者ニーズへの対応としては、懇談会時要望のあった浴室の寒さ対策として、二重窓に変更した。入居者の体調の変化もあり趣味活動、外出を含む行事は満足してもらえないものではなかった。排泄、衛生面での支援については、本人のプライド等配慮しながら、3名の入居者に対し排泄関係（パット使用等）の指導を行った。

平成24年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4
退居	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	4
入居者数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	14	13.9

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	0	0	0	0
75～79歳	0	3	3	21.4
80～84歳	2	1	3	21.4
85～89歳	1	1	2	14.3
90～94歳	3	1	4	28.6
95～99歳	1	1	2	14.3
100歳～	0	0	0	0
合計	7	7	14	100.0

最高年齢 男性 95歳 女性 95歳

最低年齢 男性 81歳 女性 75歳

平均年齢 男性 88.6歳 女性 84.1歳 全体平均 86.3歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	6	2	2	1	2	0	0	1	14
構成比 (%)	42.9	14.3	14.3	7.1	14.3	0	0	7.1	100

### 3. その他事業

#### 【配食サービス】

年間営業日数248日、食数563食（昨年比88.5%）、一日平均食数2.2食であった。

#### 【職員研修】

施設内研修会を実施し、施設外研修及び会議に年間延105名を派遣した。

#### 施設内研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
5月17日	準職員初任者認知症研修	施設長	7名
5月29日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	22名
6月15日	ストレスマネジメント上級編	滋賀県介護福祉士会会長 村田美穂子氏	33名
8月31日	認知症の医学知識	南草津けやきクリニック院長 宮川正治氏	26名
9月20日	人権について	東近江市人権課指導員 力石寛治氏	27名
10月24日	高齢者の尊厳と身体拘束廃止	滋賀県介護福祉士会会長 村田美穂子氏	24名
12月20日	感染症予防	豊郷病院感染管理認定看護師 竹内淑江氏	23名
2月8日	リスクマネジメントⅡ	滋賀県介護福祉士会推進委員 砂田貴彦氏	23名
3月30日	認知症事例発表会	特養職員	15名

#### 【消防・防災】

施設に対する理解と防災協力を目的として、7月に防災会議を開催した。総合訓練2回、夜間想定避難訓練2回実施したが、時期に偏りがあったのは課題である。

#### 【地域交流・貢献】

地域交流、地域貢献は社会福祉法人の最重要テーマであり、様々な取り組みを実施した。今後も積極的に進めたい。

日付	内容	参加者数
6月14日	建部老人会介護教室	22名
6月18日	建部幼稚園運動会	6名
6月24日	建部幼稚園交流会	21名
7月9日	地域防災会議	14名
8月7日	カルナ納涼夏祭り	350名
9月11日	カルナ敬老会	150名
9月25日	建部地域認知症徘徊高齢者搜索訓練参加	143名
10月1日	すみれ保育園運動会	7名
10月20日	八幡高等学校福祉入門スクール	30名
10月28日	建部幼稚園交流会	36名
11月3日	びわこ学院大学紅葉賀祭	6名
11月30日	滋賀学園職場説明会	40名
2月23日	すみれ保育園交流会	14名

#### 【月間 MVP】

昨年スタートした月間 MVP を2回実施し、職場の活性化に努めた。計7名を表彰した。

第1回テーマ「元気ハツラツで賞」期間：10月～11月

第2回テーマ「気づかいありがとう賞」期間：2月～3月

【衛生委員会】

産業医契約と同時に8月に発足し、月1回テーマを設けて実施した。

8月	衛生委員会について	12月	施設内の環境について
9月	年間計画、交通安全運動について	1月	定期健康診断について
10月	感染症対策について	2月	花粉症について
11月	腰痛対策について	3月	福利厚生について（都合により延期）

【ボランティア、実習生の受け入れ】

多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。また、多くの実習生を受け入れた。

実習・施設見学	
<p>&lt;学校関係&gt;</p> <p>◇滋賀学園高校 ヘルパー2級同行訪問実習14名、ヘルパー2級施設実習1名</p> <p>◇びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 施設現場実習8名、施設見学11名</p> <p>◇聖徳中学校 職場体験学習2名</p> <p>&lt;その他機関&gt;</p> <p>◇JA グリーン近江ヘルパー2級同行訪問実習2名、施設実習3名</p> <p>◇県シルバー人材センター ヘルパー2級施設実習2名</p> <p>◇キャラバンメイト実習4名</p> <p>◇建部老人会（介護教室・施設見学）20名</p>	
ボランティア	
<p>&lt;アトラクション&gt;</p> <p>◇すみれ会（大正琴） ◇フェイシャルセラピスト協会（リハビリメイク）</p> <p>◇建部幼稚園（歌・ふれあい） ◇さわやかクラブ（歌謡） ◇北小学校（歌、ふれあい）</p> <p>◇すみれ保育園（歌、ふれあい） ◇日野ダイヤモンドクラブ（歌謡）</p> <p>◇男性合唱団 まほろば（合唱） ◇レイカ28（銭太鼓・歌・踊り）</p> <p>◇愛東 グランベル（ハンドベル演奏） ◇二胡っ娘（二胡演奏）</p> <p>&lt;団体&gt;</p> <p>◇ひまわり会（喫茶） ◇建部赤十字奉仕団（除草作業、窓拭き） ◇建部老人会（除草作業）</p> <p>◇市すぎの子会（夏祭り） ◇アルティ（夏祭り） ◇ワークホームズ（夏祭り）</p> <p>◇建部民生児童委員（除草作業、夏祭り） ◇湖東信用金庫（夏祭り） ◇滋賀銀行（夏祭り）</p> <p>◇関西アーバン銀行（夏祭り）</p> <p>&lt;個人&gt;</p> <p>◇市田徳男様（カラオケ） ◇小林義和（ピコ郎）様（歌） ◇江頭 翼様（歌謡）</p> <p>◇大江昌巳様（ハーモニカ演奏） ◇松田俊二様（ホルン演奏） ◇楠本恭久様（手品）</p> <p>◇青木・田井中・村田様（びわこ学院大学介護ボランティア）</p>	

#### 4. 慈照会年間行事

上半期		下半期	
4月	1日全体職員会議 21日第1回経営会議 21日第1回職員食事会 (A) 15名	10月	14日職員健康診断 20日第7回経営会議 21日第2回職員食事会 (A) 15名
5月	11日第1回職員食事会 (B) 13名 23日総合避難訓練① 26日第2回経営会議 27日第1回理事会・評議員会 (事業報告・決算) 30日消防設備機器点検	11月	4日入居者健康診断 7日～30日文化月間 (展示) 10日インフルエンザ予防接種 11日滋老協研究大会 (5名) 21日消防設備点検2回目 24日第8回経営会議
6月	22日建部老人会除草奉仕作業 23日建部民協中庭除草作業 23日第3回経営会議 28日第1回職員食事会 (C) 15名	12月	14日法人忘年会 22日第9回経営会議
7月	6日建部民協会議 9日地域防災会議 14日～15日近老協和歌山大会 (4名参加) 21日第4回経営会議 24日建部日赤除草作業	1月	1日年賀式 10日健康相談会 19日第10回経営会議 27日夜間想定避難訓練①
8月	7日カルナ納涼夏祭り 25日第5回経営会議	2月	23日第11回経営会議 29日第2回理事・評議員会 (理事・評議員改選、補正) 29日夜間想定避難訓練② 29日第2回職員食事会 (B) 8名
9月	11日カルナ敬老会 22日第6回経営会議 25日建部地域徘徊高齢者搜索訓練	3月	22日第12回経営会議 28日理事会・評議員会 (事業計画・予算) 15日夜勤者健康診断 28日第2回職員食事会 (C) 14名 30日総合避難訓練②

#### ※施設内会議

経営会議 (月1回) スタッフ会議 (週1回) 衛生委員会 (月1回)

デイショート会議 (月1回) ヘルパー会議 (月1回) 居宅介護支援事業所会議 (月1回)

特養会議 (月1回) ケアハウス会議 (月1回) 事務会議 (月1回) 給食会議 (月1回)